

意見書第9号

中華人民共和国による人権侵害問題に対する
調査及び抗議を求める意見書（案）

上記の議案を、地方自治法（昭和22年法律第67号）第99条
の規定に基づき別紙のとおり議決を求める。

令和3年12月17日提出

提出者

香芝市議会議員

下村佳史

賛成者

香芝市議会議員

河杉博之

中川廣美

小西高吉

中村良路

中山武彦

上田井良二

筒井寛

中井政友

中谷一輝

芦高清友

木下充啓

眞鍋亜樹

清川希代子

中華人民共和国による人権侵害問題に対する 調査及び抗議を求める意見書（案）

新疆ウイグル自治区で、大規模な恣意的勾留、人権弾圧が中国当局によって行われていることを国際社会は深く憂慮している。国連の人種差別撤廃委員会は、平成30年（2018年）9月、中国に関する総括所見を公表し、多数のウイグル人やムスリム系住民が法的手続きなしに長期にわたって強制収容されて「再教育」が行われていることなどについて、「切実な懸念」を表明している。

令和2年（2020年）10月には国連総会第3委員会でもドイツなど39カ国が、香港とウイグル自治区での人権侵害に重大な懸念を表明する共同声明を公表し、ウイグルとチベットでの人権尊重と調査、香港の事態の即時是正を求めている。本年2月3日には、ウイグル女性が報道機関に対し「新疆ウイグル自治区の収容施設に収容された際に組織的な性的暴行被害があった。」と証言した。2月5日、アントニー・ブリンケン米務長官と中国の楊潔篪（ヤンチエチー）政治局員が電話対談を行った際に米国は「新疆ウイグル自治区、チベット自治区、香港における人権と民主的な価値観を米国は擁護し続ける」という趣旨を発言した。この発言は、ドナルド・トランプ前米大統領政権時のポンペオ国務長官が「中国による新疆ウイグル自治区における少数民族ウイグル族らへの弾圧を国際法上の犯罪となるジェノサイド（民族大量虐殺）と認定する」という旨の発表の流れを継続する発言である。ドミニク・ラーブ英国外相も「中国西部の新疆ウイグル自治区でおぞましく、甚だしい人権侵害が起きている」として中国政府を厳しく非難し、オーストラリアのマリス・ペイン外相も「調査をするべきだ。」と発言しており、国や政党を超えて大きな人権問題として認識されている。

米上院は7月14日に輸入業者に対して、ウイグル産の輸入品が生産過程で強制労働と無関係であることを証明するよう義務付けるウイグル強制労働防止法を全会一致で可決させた。この法は企業側に説明責任を負わせる内容で、証明できない限りウイグル産の製品や原材料の輸入は禁じるというものである。日本の国内企業にとっても現実的な経営リスクとなっており、当市内外の中小企業にとっても死活問題となりかねない。本年10月には、国連総会での共同声明は日米欧など43カ国となっている。

これらの世界の状況があるにも関わらず、日本政府は「人権状況

について懸念をもって注視している」という趣旨の発言に留まってお
り、人権問題について取り組んできた当市議会としては政府の対応
は到底容認できるものではない。

よって本市議会は、直ちに日本政府として調査し、各種問題があ
った場合は、様々な手法を用いて厳重に抗議することを要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和3年 月 日

| | | | |
|--------|----|----|---|
| 衆議院議長 | 細田 | 博之 | 殿 |
| 参議院議長 | 山東 | 昭子 | 殿 |
| 内閣総理大臣 | 岸田 | 文雄 | 殿 |
| 内閣官房長官 | 松野 | 博一 | 殿 |
| 総務大臣 | 金子 | 恭之 | 殿 |
| 法務大臣 | 古川 | 禎久 | 殿 |
| 外務大臣 | 林 | 芳正 | 殿 |

奈良県香芝市議会